

**令和6年度 第2回
門真市教育委員会点検・評価検討委員会 会議概要**

開催日時 令和6年8月6日（火）13：00～14：00
開催場所 門真中町ビル 2階 会議室A
出席者 野田文子委員長、新谷龍太郎副委員長
事務局 峯松教育部教育監、大倉教育部次長、井手教育部総括参事、高岡教育総務課長、渡辺教育企画課長、高山学校教育課長、向井学校教育課参事、岡田学校教育課参事、永田教育総務課長補佐、姫路教育総務課係員
傍聴者 なし
議事

野田委員長

定刻となりましたので、ただ今から、令和6年度第2回門真市教育委員会点検・評価検討委員会を開催いたします。

本日はご多忙にもかかわらず、ご出席いただき誠にありがとうございます。それでは、本日の出席者数の報告を事務局からお願いします。

事務局（永田教育総務課長補佐）

それでは、出席者の報告をさせていただきます。本日全委員の方にご出席いただいております。

門真市附属機関に関する条例の施行に関する門真市教育委員会規則第5条第2項の規定にあります過半数の出席の要件を満たしておりますので、会議が成立していることをご報告いたします。

野田委員長

ありがとうございます。

では続いて、本日の進め方と資料について、事務局より説明をお願いします。

事務局（永田教育総務課長補佐）

本日の進め方ですが、点検・評価検討委員の皆様よりご指摘をいただき、修正いたしました部分につきまして、7つございます「施策の方向」ごとに要点を各所属から説明させていただきます。

その後、事務局より、点検・評価検討委員の意見・助言を読み上げさせていただきますので、委員の皆様より新たに補足、訂正、追加等がございましたら、ご意見・ご助言をいただきたいと思います。

そして、報告書のすべての項目が終わりましたら、点検・評価検討委員の皆様

からいただいております、「全体についての意見」を事務局より読み上げいたしますので、こちらにつきましても、補足、訂正、追加等をお願いしたいと思います。

報告書の後半部分に97ページから、資料編としまして資料を添付させていただいております。それぞれ、100ページから門真市開発的生徒指導についての資料、103ページから門真市版授業スタンダードの資料、107ページから門真市版授業づくりベーシック、109ページから門真市学びのススメ、そして最後に114ページに用語集を添付させていただいておりますので、よろしくお願いたします。以上です。

野田委員長

ありがとうございます。ここまで、進行方法や資料についていかがでしょうか。

それでは、施策の方向1「確かな学力の育成」について修正箇所のご説明をお願いします。

岡田学校教育課参事

修正したところと言えば、18ページをご覧ください。実施施策名は、(3)グローバル化に対応するための取組の推進についてになります。

前回、最後のところ、令和5年度実施を踏まえた課題と今後の目標の「めざせ世界へはばたけ事業」の推進の部分で、先生方から、はばたけは門真市でも要となる事業であるというご意見をいただきました。今回で13回目を迎えて内容についてはまた検討をしているところですが、例えば小学生に幅を広げる等というようなご意見もいただきましたので、「対象学年等」についてという部分を記載させていただきました。以上です。

事務局（永田教育総務課長補佐）

施策シート（4）小中一貫教育の推進のについていかがでしょうか。

高山学校教育課長

続きまして、小中一貫教育の推進です。20ページをご覧ください。前回の第1回目の会議の中で、小・中連携だけではなく、小学校同士で付けたい力の目標を共有することは大切であるとのこと指摘をいただきましたので、そこに下線を引かせていただいていますように、「共有することで、小・小連携を一層推進するとともに」という部分を追記しました。以上です。

事務局（姫路教育総務課係員）

では、意見・助言に移らせていただきます。93 ページをご覧ください。施策の方向1、確かな学力の育成について、前回、点検評価検討委員のみなさまよりいただきましたご意見と助言を読み上げさせていただきます。

(1) 学習指導要領の確実な実施について。1つ目が、「授業で自分で考え取り組んでいると思う」割合は、小中ともに高い割合で推移しており、特に中学校では、すでに全国平均を上回っている。成果が出てきているため、さらに多くの授業が、授業スタンダードに沿ったものとなるよう工夫していただきたい。

2つ目が、ICT機器の活用については、ICT活用検討会で好事例の共有を行うなど効果的な支援が行われているため、今後も続けていただきたい。

3つ目が、電子テキストを活用する研修を継続することで、ICT活用の質を高め、教科横断的な学習や探究学習、自由進度学習などに繋げていっていただきたい。

(2) 学力向上に向けた基盤づくりについて。門真市の標準化得点は、全国平均をまだ下回っているものの向上してきており、小学校については、5ポイント以上の大幅な向上が見られた。引き続き、授業づくりや取組に向けた組織の強化、学力状況の把握と分析を進めていただきたい。

(3) グローバル化に対応するための取組の推進について。1つ目が、中学生英語プレゼンテーションコンテストや門真市めざせ世界へはばたけ事業など充実した活動が展開されており、また、ALTの派遣も安定している。

2つ目が、グローバルに関心を持つ子どもをより増やすためにも、小学生を対象とした市内の取組の開発や、海外との交流機会のさらなる充実などに期待する。

(4) 小中一貫教育の推進について。1つ目が、小中一貫教育の充実に向け、キャリア教育全体指導計画を基に小小連携をさらに進めていただきたい。

2つ目が、「幼・保・こども園との交流の取組を実施する小学校数」が増えているため、目標数値達成に向けて、引き続き進めていただきたい。以上です。野田先生お願いいたします。

野田委員長

それでは、ご意見をいただこうと思うのですが、まず少し修正をしたいと思います。93 ページです。18 ページと 19 ページについては修正いただいてありがとうございます。93 ページですが、「である」や「する」という口調になっているので、少し丁寧に「ですます調」にしたほうがいいかなとも思いますのでよろしいでしょうか。

例えば、いただきたいはいいと思うのですが、2つ目の学力向上に向けた基盤づくりの真ん中の行の、5ポイント以上の大幅な向上が「見られた」を「ました」

にさせていただいて、その次の(3)グローバル化に対応するための取組の推進で、上から2行目のところで、「している」を「しています」。それから、最後の行が、「期待する」を「期待します」、それだけです。先生のほうから何かございますか。

新谷副委員長

(4) 小中一貫教育の推進のところですが、「小中一貫教育の充実に向け、キャリア教育全体指導計画を基に」の後に、「小中連携と共に」と1つ加えていただいたほうが、誤読がなくていいと思います。小中連携と共に小小連携をさらに進めていただきたいというかたちにしていただきたいと思います。

野田委員長

ありがとうございます。それでは、施策の方向2、すべての子どもへの学習の支援をお願いします。

事務局（永田教育総務課長補佐）

こちらは、シートの修正はございませんでしたので、意見・助言を読み上げさせていただきます。

事務局（姫路教育総務課係員）

はい。93ページをご覧ください。(1) 障がいのある子どもの自立支援について。長期的な視点に立ち、学校看護師の設置や通級学級指導教室の担当教員の増員が進められているが、通級指導を受ける児童・生徒の増加も予想を上回り、一人ひとり教育的ニーズの幅も広がっている。支援の方向についてさらに検討を進め、障がいのある子どもの情報共有や保護者支援などに努めていただきたい。

(2) 不登校児童生徒への支援について。1つ目、不登校率が全国平均と比べて非常に高くなっている。スクールソーシャルワーカーは、来年度も増員する予定であるほか、いじめ事案のアセスメント・プランニングも実施されるようになり対応が進んでいるため、より合理的な支援のために、不登校の背景分析をさらに進めることが重要であると考えます。

2つ目、児童生徒が、校内適用指導教室や地域の居場所等を利用してどのように変化したのかを把握する手立てを検討していただきたい。

(3) 様々な状況下における学習機会の確保について。GIGAスクールの構想により、各学校にオンライン授業ができる基盤が実現しています。学級閉鎖などでオンライン授業を行う際には、スムーズな運営となるように、日々の点検や整備、活用に留意していただきたい。以上です。

野田委員長

それでは、私のほうから、先程と同じように「ですます調」に変えていただこうと思います。

まず、(1) 障がいのある子どもの自立支援は、真ん中の行の終わりのほうですが、「広がっている。」を「広がってきています。」と修正してください。一番下の行の「保護者支援」というところの、「支援」という言葉を入れるといろいろな解釈で誤解があるといけませんので、「保護者連携などに努めていただきたい。」にしてください。

(2) 不登校児童生徒への支援のところも、3行目の始めの「いる。」を「います。」にしてください。ここで一旦切って、「います。」にさせていただいて、「より合理的な支援のために、不登校の背景分析をさらに進めることが重要です。」と、そこで終わってください。私からは以上です。

新谷副委員長

明確な指摘ではないのですが、29 ページの不登校率ですが、確かに単位が千人率になっているのですが、単位の扱い方を少し検討したほうがいいのではないかと思います。93 ページの(2)ですが、非常に高くなっているという表現の「非常に」を削ってもいいのではないかと思います。

野田委員長

そうですね。単位が違うというところと重ねてもものすごく多く感じる可能性はありますね。「不登校率が全国平均と比べて高くなっている。」としてください。千人率とは書いていますが、ぱっと見た感じは誤解する可能性はありますね。以上でよろしいでしょうか。ありがとうございました。

それでは続きまして、施策の方向3、豊かでたくましい人間性の育みについてお願いします。

高山学校教育課長

はい。44 ページをご覧ください。施策名は、いじめ防止への取組の推進です。44 ページの下段の、令和5年度実施を踏まえた課題と今後の目標の下から2行目の部分になります。前回、小さなSOSを見逃さないというかたちで記載しておりましたが、声をあげることが出来ない子に目を向けていくことが大切だところのご指摘をいただきましたので、「声にならないSOS」に修正いたしました。

続きまして、これは修正ではないのですが、45 ページの実施策名、人権尊重の教育の推進の部分をご覧ください。一番上の、計画における現状と課題です。

150名を超える日本語指導が必要な児童生徒が在籍している状況という表現について、現時点での日本語指導が必要な児童生徒数はどうなっていますかとのご質問をいただきました。調べましたところ、令和6年7月時点の直近の状況で、165名というところで、やや増加しております。子ども全体の数が減少する中、これは増加しているということですので、割合的には上がっているものというふうになります。以上です。

事務局（姫路教育総務課係員）

では、意見助言を読み上げさせていただきます。94ページをご覧ください。施策の方向3、豊かでたくましい人間性の育みについて。

（1）自分の将来を描ける力の育成について。発達段階に応じたものとなるように、キャリアパスポートを有効に活用していただきたい。

（2）豊かな心を育む教育の推進について。1つ目、道德教育については、推進校を中心に研究を進め、市内各小・中学校の担当とも交流・議論を進めている。「考え・議論する」授業へのさらなる展開に期待する。

2つ目、「自他の命をかけがえのないものと思う」と回答していない3%前後の児童・生徒については、注視して指導を行っていく必要がある。スクリーニングは効果的であるため、多職種連携をさらに推進し、教員研修においても事例共有などを図っていただきたい。

3つ目、SNSトラブルへの対応や未然防止に関する研修もしくは生徒指導について、今後も取り組んでいただきたい。

（3）開発的生徒指導の推進について。1つ目、児童生徒の自尊感情は比較的良好な傾向にあり、教員への信頼は、高い数値で推移している。

2つ目、暴力行為が増加している。課題分析で示されているように、コミュニケーション技能の向上は重要であるため、信頼関係を築き、互いの寛容性を醸成させる共同性を養う活動や指導の強化に努めていただきたい。

3つ目、生徒指導提要（改訂版）に記載のある多機関連携の3層構造を意識した体制づくりを検討していただきたい。

（4）いじめ防止への取組の推進について。1つ目、いじめの認知件数が大幅に増加している。いじめ認知の感度が向上していることもあると思うが、それにより解決できるいじめが増えることが望まれる。保護者との懇談や教員の研修などに取り組んでいただき、また、見えないSOSを見つける感性の育成にも努めていただきたい。

2つ目、門真市独自の取り組みである、こどもオンライン相談や門真市版スクリーニングなどを引き続き浸透させ、研究開発を進めていただきたい。

（5）人権尊重の教育の推進について。1つ目、小中一貫教育において、人権

教育の系統的な指導が期待される。

2つ目、加配教員がない学校への支援として、日本語指導担当者連絡会でハンドブックが作成された。必要が生んだ結果とも言えるが、担当者が手だてを考え出すとともに、要因の配置も考慮される必要がある。

3つ目、日本語指導が必要な児童生徒に対して、学習状況や学校生活での実態などを把握し、支援することはもちろん、その後、学習言語が習得・定着されているかも含めて意識していただきたい。

(6) 読書活動の推進について。1つ目、読書をしない児童・生徒が増加しているため、読書をしない背景を探り、改善に努めていただきたい。

2つ目、今後は、電子図書の導入が重要となるため、活用について考えていただきたい。以上です。

野田委員長

ありがとうございました。ご意見ございますか。

新谷副委員長

一点追加、一点修正、一点確認、合計3点ありますのでよろしくお願いします。

(1) 自分の将来を描ける力の育成ですが、少し空欄が多いので、次の一文を足していただけますでしょうか。「コミュニティスクールの枠組みを活用し、地域と連携したキャリア教育の充実を図ってほしい。」よろしいでしょうか。

次に、修正点ですが、(3)の3つ目ですが、中の文の入れ替えをしていただきたいのですが、「生徒指導提要(改訂版)に記載のある重層的支援構造を意識した多機関連携の体制づくりを検討していただきたい。」ページ数は、19ページの生徒指導提要(改訂版)の重層的支援構造の増員をイメージしております。

3点目ですが、(5)人権尊重の教育の推進の2つ目、要因の「因」が人員の員だと思えますのでご確認ください。以上です。

野田委員長

ありがとうございます。44ページの声にならないSOSの、「声にならない」は、わかりやすくてなかなか良い表現だと思いました。

それでは、94ページについて、先程と同じように、少し文言の修正をしたいと思います。(1)はそのままで、(2)豊かな心を育む教育の推進のところは1行目の終わりからです。「議論を進めている。」ではなく「議論を進められています。」にしてください。最後は、「期待する。」ではなく「期待します。」、その2行下は、「指導を行っていく必要があります。」その3点です。

(3)開発的生徒指導の推進のところは、1行目が「高い数値で推移していま

す。」、その次ですが、「暴力行為が増加している。」というところの「が増加している。」というところを取って、「暴力行為の対応には、課題分析で示されているように」というように修正してください。続いて、「技能の向上は重要」ではなく、「技能の向上が重要」というかたちでお願いいたします。

そして、(4) いじめ防止への取組の推進のところでは、1つ目の「大幅に増加している。」は、ここはいいですね。「増加しています。」にしてください。感度が上がっているという背景もあり件数が増えているんですね。「いじめ認知の感度が」ではなく、ここから少し文章を変えていただきたいのですが、「感度の向上」、「が」を「の」にさせていただいて、「していることもあると思うが、それにより解決できる」というあたりを消していただいて、「いじめ認知の感度の向上をいじめ防止に繋げることが望めます」。感度の向上がいじめ防止に繋がっていくという言い方にしたいです。もう一度申し上げます。「いじめ認知の感度の向上はいじめ防止に繋げることが望めます。」

新谷副委員長

1回切ってしまうてもいいのかもしれませんが。例えば「いじめの認知件数が大幅に増加している。これには、いじめ認知の感度の向上していることが関係しています。」

野田委員長

「この感度向上をいじめ防止に繋げることが望めます。」そうですね。わかりやすくなりました。ありがとうございます。

(5) 人権尊重の教育の推進の1行目の、「期待される」を「期待します」へ。2つ目の、「ハンドブックが作成された」を「作成されました」。3行目の、必要が生んだ結果ではなく、「必要が生んだ成果ですが」としてください。「必要が生んだ結果とも言えるが」を「必要が生んだ成果ですが」というかたちにしてください。いいことであったということにしてください。

(6) 読書活動の推進のところですが、2つ目の、「今後は、電子図書の導入が重要となるため、活用について検討いただきたいにしてください。」よろしいでしょうか。ありがとうございました。

それでは、施策の方向4、健やかな体を育てる教育の推進をお願いいたします。

高山学校教育課長

54 ページをご覧ください。実施施策名は、体力づくりと健やかな生活習慣の確立に向けた取組です。令和5年活動・成果概要の一番最後の部分になります。以前は、「対応について学ぶことができました。」と記載しておりましたが、前回、

具体的なご助言をいただきましたように、下線部のとおり、「正しい生活習慣の中で使い方の意識を高めることができました。」と修正いたしました。

高岡教育総務課長

57 ページ、58 ページをご覧ください。施策名は、(2) 食育の推進です。修正点は一番最後の 58 ページ、令和 5 年度実施を踏まえた課題と今後の目標の書き方のところですが、途中の部分だけ課題でひとまとめ、目標でひとまとめという書き方をしておりましたので、他の項目と合わせるかたちで、今後の取り組みごとにまとめ直したというかたちにしております。内容については、特に修正はございません。

事務局（姫路教育総務課係員）

それでは、94 ページをご覧ください。意見と助言を読み上げさせていただきます。

(1) 体力づくりと健やかな生活習慣の確立に向けた取組について。1 つ目は、中学校において、運動能力と運動習慣に向上が見られた。通常通りの授業が行えるようになったことに加え、授業の工夫も効果的であったと思われる。なお、これまで指摘されている持久力と瞬発力については、課題解決に向けた改善に努めていただきたい。2 つ目は、「携帯電話・インターネットに関わる保護者対象の講演会等を開いた学校数」が伸びているため、引き続き実施していただきたい。

(2) 食育の推進について。1 つ目は、朝食喫食率が全国平均に比べて低く、中学生の 1 割以上に自らの健康について主体的に考える習慣がついていないといえる。食育を担う家庭科や保健体育などの教科指導においても、さらに工夫を進めていただきたい。2 つ目は、養護教諭や地域の子ども食堂等との連携を通して、欠食児童の把握や家庭状況の把握を進めていただきたい。以上です。

野田委員長

ありがとうございました。それでは、新谷先生お願いいたします。

新谷副委員長

食育の推進の、1 つ目の「主体的に考える習慣が十分にはついていないといえる」と、十分にはというような一言を加えておいてください。

野田委員長

同じところですが、書きぶりを変えていただいたところで、58 ページの今後の目標のところは少し変わりましたので、ニュアンスが少し変わって「系統的か

つ継続的な食育を、学校教育活動全体を通して推進していく必要があります。」という書き方になっていますので、学校教育活動全体でやるんだというニュアンスが少し強く前回よりは、前に出てきておりますので、私のほうもその言葉を受けて、真ん中の「食育を担う家庭科や保健体育など」という特定の一部を引っぱり出すのではなく、ここを消していただいて、「学校教育活動全体を通した系統的な活動をさらに進めていただきたい。」という言い方にしていきたいです。もう一度言います。「食育を担う家庭科の」というあたりからずっと消して、「進めて」の手前まで消していただいて、「学校教育活動全体を通した系統的な活動をさらに進めていただきたい。」にしてください。

あとは、「ですます」の修正ですが、(1) 体力づくりのところでは、2行目、「あったと思われる。」を「あったと思われます。」にしてください、(2) 食育の推進のところでは、「ついていないといえる。」を「ついていないといえます。」にしてください。あとは大丈夫です。以上です。

それでは、施策の方向5、教職員の子どもとの関わりの充実についてお願いいたします。

事務局（永田教育総務課長補佐）

こちらは、シートの修正はございませんので、意見・助言を読み上げさせていただきます。

事務局（姫路教育総務課係員）

95 ページをご覧ください。施策の方向5、教職員の子どもとの関わりの充実について、意見・助言を読み上げさせていただきます。

(1) 教職員の人材育成について。自らの成長を感じられている教職員が減少している。「横のつながり」といえるような、教員間のアドバイスや指導などの交流機会が保持・増加されるように心がけていただきたい。

(2) 職場におけるハラスメントの防止について。相談窓口となる教職員に手引きを配布するなど、相談体制の質的な向上に努めているが、「職場でハラスメントを許さないという雰囲気醸成されていると思う」教員は減少を続けている。研修内容の見直しを図っていただきたい。以上です。

野田委員長

それでは、私のほうからは、文言の修正だけですので先に申し上げます。

(1) 教職員の人材育成の1行目、「減少しています」へ修正してください。

(2) 職場におけるハラスメントの防止については、1行目、「努めているが」を「努めておられるが」にしてください。丁寧に。そして、真ん中の行の最後の

ほうの「続けています。」にさせていただいて、そのあとに、「さらに、」を足してください。「続けています。さらに、研修内容の見直しを」、「図って」ではなく「進めて」いただきたいと修正してください。新谷先生のほうからは何かございますか。

新谷副委員長

私のほうからは、特にございません。

野田委員長

それでは、施策の方向6、学校の組織力向上と開かれた学校づくりをお願いいたします。

岡田学校教育課参事

69 ページから 71 ページになります。訂正したところは、71 ページの令和5年度実施を踏まえた課題と今後の目標でございます。実施施策名は、学校組織の改善と「チーム学校」としての組織力の強化になります。前回、学校活性化推進校補助金という新たな補助金について、もう少し記載をというご意見をいただきましたので、いつから、何のためという目的の部分で、どこへ配布をしているのかということをし少し付け足ささせていただいた次第です。以上です。

事務局（姫路教育総務課係員）

それでは、95 ページをご覧ください。ご意見・助言を読み上げさせていただきます。

(1) 学校組織の改善と「チーム学校」としての組織力の強化について。令和7年を目途に各校に設置されるコミュニティスクールの活動に期待する。

(2) 教職員の働き方改革の推進について。1つ目が、教職員の時間外在校等時間は順調に削減されている。学校サポートスタッフの配置も効果的なものとなっているため、小中での時間差の是正についても引き続き努めていただきたい。2つ目は、校務支援システムでは、さらなる円滑な運営を期待する。3つ目は、「学校全体で働き方改革が推進されていると思う職員数の割合」が増えてきているので、上手くいっている事例やICT活用の効果などにも目を向けていただきたい。以上です。

野田委員長

では、ここも少し簡単な文言の修正ですので、私から先にいきたいと思います。先程、ご説明いただいた71ページのところは、非常に短い説明でよくわかる

ようになっています。ありがとうございました。

それでは、95 ページの（１）の、１行目の「期待する。」は「期待します。」、（２）教職員の働き方改革の推進では、１行目が「削減されています。」、次が「となっているため、」となっているのですが、「となっています。」で、いっぺん切ってください。その次の、「小中での」というところは、小中連携等とややこしいので、「小中間での」と「間」を入れてください。「小中間での時間差の是正についても」としてください。

それから、２つ目の最後の、「期待する。」を「期待します。」へ修正してください。私からは、文言修正だけです。

新谷副委員長

（１）のほうが薄いので、付け加えさせていただきます。（１）のチーム学校のところで、２つ目として、「引き続き学校裁量予算の拡充や、共同学校事務による効率化、教員の業務負担軽減支援を進めていただきたい。」です。

野田委員長

ありがとうございます。それでは、施策の方向 7、安全・安心・快適な学びの場づくりについてお願いします。

渡辺教育企画課長

81 ページと 82 ページをお願いいたします。施策名は、（２）新たなつながりを創る学校づくりです。訂正箇所については、82 ページの活動・成果概要のところを追記させていただいております。前回の会議において、活動の内容は書かれているけれども、活動指標に関する実績が下がっていることや目標を下方修正したことについての説明がうまく記載されていないということで、内容を追記しております。中身としては、本施策は学校適正配置推進事業と連動していることと、今後、具体的な統合校区が限られてくるので、一旦は減少していくとい趣旨と、今、第 5 次の適配推進事業を進めておりますので、今後また、その状況に応じて検討の場の設置を考えていきますということで追記をさせていただきました。以上です。

高山学校教育課長

続きまして、88 ページをご覧ください。子どもたちを事故や災害から守るための取組の充実の中の令和 5 年度活動・成果概要の部分です。②の防災教育の推進の部分になります。防災教育については、学校だけで取り組むのではなく、地域という視点が重要であるというご指摘をいただきましたので、そのご意見を

踏まえ、下線のように修正を加えております。具体的には、「各校で避難訓練を実施するとともに、社会科等においても地域の状況を踏まえた防災教育に取り組ましました。」としております。以上です。

岡田学校教育課参事

(5) 学校外における子どもの学習支援の推進の部分です。ページは、91～92で、修正箇所は92ページになります。最後の課題と今後の目標の②家庭学習の支援のところ、前回の会議で、市の課題である家庭学習への支援及び向上で、学びのススメ以外にも記載したほうがいいとご助言をいただきまして、昨年度から指導主事等が学校訪問のときに、学校にはお伝えしている、一人一台端末を活用した家庭学習であるとか、探究的な学び等の学校での学びとつなげた家庭学習を進めるようにという指導助言も進めておりますので、そのように記載させていただきます。以上です。

事務局（姫路教育総務課係員）

それでは、95ページをご覧ください。ご意見・助言を読み上げさせていただきます。

(1) 学校施設の改善について。各校の工事は計画通りに進捗しているが、保護者の施設・設備に対する満足度は低下傾向にあり、学校の学習環境としての施設・設備に期待が高まってきていると思われる。これからの学校教育に即した教育環境の実現に向けた計画を推進していただきたい。

(2) 新たなつながりを創る学校づくりについて。「横のつながり」として、地域との交流が進められているため、さらなる多様な交流を実現していただきたい。

(3) 児童生徒一人ひとりの課題に沿った支援について。1つ目が、スクールアドバイザーは、緊急時のサポートに力点を置くほか、サポート内容の専門性を高めるなどの工夫がされ、学校組織体制の強化や教職員の支援に直接的に貢献している。とはいえ、児童虐待対応件数や就学援助率は多数発生しており、根深い課題への対応が求められることも多い。スクールアドバイザーの役割は非常に重く、専門性の強化はますます重要となっている。2つ目が、スクールソーシャルワーカーが4人体制となり改善された。「悩み相談サポートの助言、連携件数」は、コロナ後に増加しているため、重点的な支援を進めていただきたい。

(4) 子どもたちを事故や災害から守るための取組の充実について。1つ目が、安全な通学路の確保については、地域行政、地域住民の協力が不可欠であることから、協力体制の強化に努めていただきたい。2つ目が、通学経路や時間の把握、危険箇所の確認などをさらに進めていただきたい。

(5) 学校外における子どもの学習支援の推進について。1つ目が、「K a d o m a 塾」では、参加者の志望校に100%合格するなどの成果を上げている。しかし、1年間の成績については低下傾向にあるので、学習形態や授業形態の見直しを進め、生徒の学習意欲をさらに高めるよう努めていただきたい。2つ目が、「学校の授業時間以外の平日1日あたりの勉強時間が1時間より少ない児童・生徒の割合」が減ってきているため、宿題カフェに通っている子どもの把握などを行い、目標数値への達成に繋げていただきたい。以上です。

野田委員長

それでは、新谷先生お願いいたします。

新谷副委員長

ここも書き込みが薄いところが1つございますので、付け加えをお願いいたします。(2) 新たなつながりを創る学校づくりで、2つ目として、「引き続き地域と連携した防災教育や地域の企業と連携したイベントの事例を増やしていただきたい。」こちらでお願いいたします。

野田委員長

文言の修正です。(1) 学校施設の改善のところでは、2行目の「高まってきていると思われる。」を「高まってきていると思われまます。」へ、最後の行の「計画を推進していただきたい。」というところですが計画があるものということになりますので、「計画を検討していただきたい。」にしてください。2行目の修正ですが、「施設・設備に期待が高まってきている。」と言うと、少しわかりにくいので、「施設・設備に対する期待が高まってきている。」「対する」と入れてください。

(3) 児童生徒一人ひとりの課題に沿った支援については、上から2行目の真ん中あたりの「教職員の支援に直接的に貢献しています。」へ、その下の行の「求められることも多い」を「求められることも多いようです」へ修正してください。そして、3行目の最後から、「スクールアドバイザーの役割は非常に重く、」の「、」の後に「さらに」と入れてください。「専門性の強化はますます重要となっている。」ではなく、「専門性の強化に努めていただきたい。」にしてください。その下は、「4人体制となり改善されました。」にしてください。

そして、(5) 学校外における子どもの学習支援の推進の、1行目を「成果を上げています。」にしてください。2つ目ですが、「学校の授業時間以外の平日1日あたりの勉強時間が1時間より少ない児童・生徒の割合」が減ってきているためとなっていますが、減ってきているのでしょうか。

事務局（永田教育総務課長補佐）

増えてきています。

野田委員長

では、ここは間違いですね。「増えてきているため」にしてください。

82 ページのところに戻っていただきまして、(2) 新たなつながりを創る学校づくりのところの文章についてですが、中身は非常によくわかりやすくなりましたが、文章の書き方が他のところとここだけ違います。どう違うのかと言いますと、例えば、82 ページの一番上の【第四中学校区】の〈新しい学校設立準備会〉の下の校歌の校の前を一マス空けてください。書き出しが全部、そういう書き出しになっています。すごくアピールするときのような書き出しになっているのですが、他は全て普通の文章にされているので、そことその下の直していただいた「本実施策・・・」のところ、5行目の「これは・・・」のところ、そして下のほうの令和5年度実施を踏まえた課題と今後の目標のところの【第四中学校区】の下の「校名・・・」の前も一マス空けて、【第五中学校区】の「引き続き・・・」の前も一マス空けてください。その下の「また、」も一マス空けるのですが、その上を1行空けたほうがいいのかと思います。四中と五中の話ではなくなりますし、令和5年度活動・成果概要のところは1行空けていますので揃えたほうが良いと思います。

それから、88 ページのところについては、地域の状況を踏まえたという部分が入って正しい表現になっていました。あと、その他は十分です。92 ページの追加も非常に良かったと思います。以上です。

全ての項目が終わりましたので、全体を通しての意見について事務局より朗読をお願いいたします。

事務局（永田教育総務課長補佐）

全体についての意見ですが、お配りした修正版のもの見ていただいて、データを見ていただいているかたは、資料の中の（全体）と書かれたデータをご覧ください。上から読ませさせていただきます。

門真市の今後の方向性である、社会に開かれた教育課程や地域と連携した教育活動、コミュニティ・スクールなどを踏まえた評価の枠組みを検討していただきたい。

主体的な学びに向けた取組については、すでに全国平均を上回っている。また、全国学力学習状況調査の結果については、小学校で大きな伸びがあり、小・中とも全国平均まであと一歩である。学力向上については、これまで細やかな分析も

積み重ねられてきているため、今後は、教員間での授業スタンダードのさらなる共有が重要となると考える。

学校看護師や通級学級指導教室担当教員の増員など、子どものニーズに合わせた支援体制の整備が進んできている。対象児童生徒の増加と、求められるサポート内容の専門性が今後も高まると予想されるため、施設・設備も含め、学習環境の整備をさらに進めていただきたい。

児童生徒の自尊感情については、良い方向に伸びてきており、教員への信頼もよい傾向となっている。

いじめ防止に向け、児童生徒間の信頼関係の構築に不可欠である、日常的なコミュニケーション能力の伸長に留意していただきたい。

朝食については、健康と体力の増進の視点から、児童生徒の食事に関する知識と技能を身につけさせていただきたい。

教員研修については、全教職員が理解し共有できる内容へと質的転換を高め、働く環境の改善・改革につなげていただきたい。

教員の時間外在校時間は、少しずつ短縮されてきている。働き方の見直しをさらに進め、時間内における子どもとのかかわり時間の確保にさらに努めていただきたい。

スクールアドバイザーやスクールソーシャルワーカーの配置が「チーム学校」の連携の強化と学校での指導体制の強化に役立っている。今後も、「チーム学校」を活かすことができる体制づくりに期待する。

様々な場面で、必要などころに必要な支援を深く重点的に行うという姿勢を見て取ることができる。今後も、事象を的確に分析し、より適切な取組を進めていただきたい。以上です。

野田委員長

追加はございますか。

新谷副委員長

はい。二点あるのですが、一点確認で、2つ目の主体的な学びに向けた取組の全国平均を上回っているというのは、どの数字を基にしているのかというところが見辛いので、そこがないのであればあまり全国平均という言葉を出さないほうがいいのかと思います。主体的な学びに向けた取組については、進められているぐらいの表現のほうがいいのかと感じます。

野田委員長

主体的に発言の場があると思うと書いてあるアンケートの結果があったのを

もらっていたと思います。

新谷副委員長

報告書の大項目の中に、主体的な学びという大項目がないので、ちょっと探し辛いかなと思います。他の項目等を見られたら、ここは下回っている等言われるかもしれませんが、主体的な学びに向けた取組については、十分に組み込まれているとか。

野田委員長

そうですね。これは、最初のほうのまとめの学習指導要領のあたりで、中学校では平均を上回っているということを受けてここに持ってきていると思うのですが、小学校がそうかと言われればそうではないです。3ページの目指す指標の1の中学校の全国平均目標は76ですが、令和5年で77.9になっているので上回ってはいますが、小学校はそうではないので「中学校では」と入れますか。

新谷副委員長

主体的な学びは、自分で考えて取り組むだけでもないと思います。

野田委員長

主体的な学びという言い方が、幅が広がっているということですね。

新谷副委員長

はい。これが広すぎるので、主体的な学びに向けた取組については、一定の成果がみられるくらいのほうが良いと思います。

野田委員長

目指す指標の2のほうは、下回っていますので。

新谷副委員長

6点目のところですが、少し検討していただきたいのですが、この一文を入れていただきたいというのが意見です。入れるかどうかは検討いただきたいのですが、「また、朝食喫食率は家庭背景とも関係することがあるため、スクールソーシャルワーカーとの情報共有も検討していただきたい。」です。以上です。

野田委員長

私のほうからは、先ほど言っていたところはもういいですね。2つ目の

1行目、「主体的な学びに向けた取組については、一定の成果がみられます。」、2行目の最後のほうの「あと一步である。」を「あと一步です。」、その下が「スタンダードのさらなる共有が重要となります。」でお願いします。

3つ目の2行目「進んできている。」が「進んできています。」、4つ目の最後も「となっている。」を「なっています。」にさせていただいて、5つ目、いじめ防止のところですが、「留意していただきたい」に「特に」をつけてください。「特に留意していただきたい」、コミュニケーション能力の伸長に「特に」留意していただきたい。「特に」を入れて強調してください。

そのあとは、下から3つ目の項目ですが、「少しずつ短縮されてきています。」、その下の最後の文の「期待する。」を「期待します。」にしてください。

最後の文の1行目の最後、「できる。」を「できました。」にしてください。そして、ここも少し足したほうがいいのかと思います。「様々な場面で」と言うところごくあいまいな感じになりますので、「学校教育活動の」を付け加えてください。「様々な学校教育活動の場面で」にしてください。あまりにもぼんやりとした感じになってしまっているのです。

高山学校教育課長

私のほうから一点だけよろしいでしょうか。上から3つ目の中で、「通級学級指導教室」という表現があるのですが、「通級指導教室」と言うことのほうが多いかなと思います。

野田委員長

そうですね。「学級」を取ったらいいですね。ありがとうございます。

ほかに何かございますか。よろしいでしょうか。さまざまなご意見ありがとうございました。

本日、いただいた意見も取り入れまして、点検・評価報告書を作成させていただきます。

会議につきましては、本日が最後ですが、今後の報告書作成の流れを事務局よりお願いいたします。

事務局（永田教育総務課長補佐）

今後の流れについてであります。まず、本日のご意見を事務局でまとめさせていただきます。加筆・修正のうえ、点検・評価検討委員の皆様へ改めて送付させていただきますので、ご確認をお願いいたします。

点検・評価検討委員の皆様より、ご確認いただけましたら、事務局の方で報告書を完成のうえ、答申とさせていただきます。

その後、8月23日に教育委員会定例会がございますので、こちらに議案として諮り、可決の運びとなれば、9月の市議会に提出をさせていただきます。

その後、点検・評価検討委員のみなさまには、完成後の点検・評価報告書を送付させていただきます。

以上が今後の流れでございますので、よろしく願いいたします。

野田委員長

それでは、本日の案件は以上です。これにて門真市教育委員会点検・評価検討委員会を終了させていただきます。

長時間に渡り、誠にありがとうございました。